

千年の森便り No.142

2015.5.15

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

sennenomori@hotmail.co.jp

活動の記録

5月10日(日) 快晴

参加は、会員が新井通子、伊藤、大原、久我夫妻、高橋洋子、田島、根本、福島、真鍋、村野、山口夫妻、山木夫妻、河野、一般が座間の上田さん、佐倉の小俣さん、千葉の高橋さん、成沢さんの合計20名。

絶好のハイキング日和に恵まれ、午前中は全員で清和県民の森ハイキング、午後はグループごとに、豊英島散策、昆虫や植物観察、植生調査など楽しみました。(真鍋)



○清和県民の森ハイキング

初夏の清和県民の森を散策するには絶好の五月晴れに恵まれ、参加者一同大満足の自然観察会となった。

木のふるさと館から和みの森、蛍の里を經由して国道410号までの約4キロを2時間近くかけてのんびり散策した。目にまぶしい新緑の中、ミズキの白、ヤマツツジの赤の対比が引き立ち、ジャケツイバラの黄色が印象的だった。



また、トウキョウサンショウウオの卵のうやハンミョウなどについて、参加者による発見、臨時解説などもあり、穏やかな中にも印象的な観察会だった。(伊藤)



ジャケツイバラ 5/10 真鍋



ヤマツツジ 5/10 伊藤



コケリンドウ 5/10 真鍋



トウキョウサンショウウオ卵囊

清和県民の森の散策で確認した野鳥は、以下のとおりです。ウグイス、センダイムシクイ、カケス、シジユウカラ、キビタキ、オオルリ、ヤマガラ、ホオジロ、コゲラ、メジロ、キセキレイ、アオバト、ヒヨドリ、ハシボソガラス、エナガ、トビ、スズメ、ツバメの18種(出現順)。このうち姿が見えたのは、カケス、ヤマガラ、ヒヨドリ、ハシボソガラス、エナガ、トビ、スズメ、ツバメの8種で、残りの10種は声のみでした。

アオバトは、松節橋と木和田橋の間で声を確認しました。清和県民の森では初めて聞きました。(福島)

○島内散策

10年ぶりの会員や初参加の方5人と一緒に島内を散策した。あちこちに咲くエビネや、まだ花の残るカンアオイを見ながら散策を行い、ホテイ岬では干上がった湖岸に降りて残された動物の足跡を見たり、ほこら山では安全を祈願するなど、千年の森の主なポイントを案内した。

また、コナラ更新の失敗例とそれを踏まえたギャップ更新地の管理方法、ヒメコマツ植栽の意味合いなど、千年の森が取り組んでいる各種の調査やフィールドについても紹介し興味深く聞いてもらった。(伊藤)



林床のカンアオイ観察

○植物の記録

ユウシュンランは、花が終わりさく果ができている個体を2個体確認しました。このまま順調に生育し、種子を飛ばしてくれるといいですね。

橋の下で、ウメガサソウの写真を撮りました。花はまだ開いておらず、つぼみの状態でした。(福島)



ウメガサソウ蕾 5/10 福島

○昆虫観察記

<p>ホソバシャチホコ 自動販売機に蛾が数頭いました。夜、灯りに集まってきたのでしょう。夜行性の蛾をたくさん見られて得した気分。</p>		<p>ヤツボシハナカミキリ 伐採木にたくさんいました。何だろうと悩みましたが、ヤツボシハナカミキリのように。翅の模様に変異があります。</p>	
<p>ヒメツチハンミョウ♀ ツチハンミョウの仲間はカンタリジンという毒があるので、手で持つのは危険です。派手な色のハンミョウには毒はなく、ハンミョウとは違う仲間です。</p>		<p>ニンフホソハナカミキリ (ニンフハナカミキリ) カミキリの大好きな河野さんが発見。スマホでササッと名前を調べてくれました。触覚の白い部分に注目。</p>	

(清和県民の森～豊英島) ジャコウアゲハ、アオスジアゲハ、ヤマトシジミ、ヒメウラナミジャノメ、アカタテハ幼虫、ホソバシャチホコ、シロオビクロナミシヤク、クロモンキリバエダシヤク幼虫、ゴマフボクトウ幼虫、オビカレハ幼虫、ニホンカワトンボ、ホソミオツネトンボ、シオヤトンボ、ベニカミキリ、ホタルカミキリ、ジョウカイボン、アオジョウカイ、クチキクシヒゲムシ(死骸)、ハンミョウ、ヒメツチハンミョウ、トラマルハナバチ、マガリケムシヒキ、アカスジオオカスミカメ、ハラビロヘリカメムシ、マルカメムシ、ケブカヒメヘリカメムシ、シマサシガメ幼虫、スカシヒロバカゲロウ



ヤマツツジにジャコウアゲハ 5/10 福島



ニホンカワトンボ 5/10 福島



ハンミョウ 5/10 福島



これ何? 5/10 福島

(豊英島) ジャコウアゲハ、モンキアゲハ、コジャノメ、ヒョウモンエダシヤク幼虫、チャイロキリガ幼虫、ヨツボシホソバ幼虫、ホソミオツネトンボ、ニンフホソハナカミキリ、ヤツボシハナカミキリ、トゲヒゲトラカミキリ、ヒメクロトラカミキリ、ムツボシタマムシ、クロウリハムシ、サメハダツブノミハムシ(アカメガシワ)、カオジロヒゲナガゾウムシ、トビイロオオヒラタカメムシ、ヘラクヌギカメムシ幼虫、キボシアシナガバチ、ムネアカオオアリ、オオイシアブ、ヤマトシリアゲ、ヤマトシロアリ(羽アリ)、モリチャバネゴキブリ幼虫(田島)

この日の観察会は天気がよく、多くの昆虫も見つけられて非常に楽しい1日でした。特にニンフハナカミキリが白い花に複数飛来していた姿は白い花を好むという教科書通りの情報で、実際に見れてよかったです。今後季節が進むにつれ、豊英島の昆虫たちの姿がどのように変わっていくのか非常に楽しみです。(河野)

○野鳥の記録 坂本会員は前日の5月9日入林し野鳥観察を行いました。

キジバト1 カワウ10(雛4含む) トビ9(雛3含む) コゲラ声 ハシボソガラス声 ハシブトガラス声
ヤマガラ囀り シジュウカラ囀り ツバメ声 ウグイス囀り センダイムシクイ囀り メジロ声 囀り
ハクセキレイ声 カワラヒワ囀り 以上14種

カワウの巣は周辺の葉が茂って全体が見通せなくなっています。二つの巣にそれぞれ2羽ずつの雛がいるよう
で、甘えたような声が聞こえていました。



カワウの雛 5/9 坂本

トビの巣には3羽の雛がいました
が、親鳥の姿は無く、じっとうず
くまったままでした。巣の端にヘラ
ブナと思われる魚が食いかけの状
態で置かれていました。親がいなく
ても餌がそばにあるから大丈夫な
のでしょうか・・・(坂本)



トビの雛 5/10 真鍋

○ギャップ更新地植生調査

木本をはじめ草本も驚くほど伸び、種類も増え、緑も増して来ていま
した。特に印象的なのは多くのコナラの実生が驚くほど生長していた
事です。大原さん、福島さん、村野さんが協力して下さったおかげで
効率よく進みA2(註)まで終了しました。芽出して間もない物は特定
に迷い、皆であれこれ想像するのも楽しく、次回から棒を立てて経過
観察する事にしました。



調査は昨年の11月から始めました。全伐したため草本は少なく木本が主だったため丸3日程で20区画終
了しましたが、春になり埋土種子も発芽するなどかなりの種類が出現しています。前月は午後から開始した
が急な雨で中止したため0.5区画(註)しか出来ませんでした。今月は午後2時間かけて20区画のうち
1.5区画を終えたので、あと18区画残っています。今シーズンの調査終了には今後約24時間の調査が必要
です。(発芽や枯死も出てくるので終了した区画を毎回チェックする作業も)

会員の皆様のご協力が頂けたらと思います、よろしくお願いします。(新井通子)

註) 1区画は5m×5m(25㎡)で計20区画・・・A1~D5と表示しています。

この日久しぶり参加の会員や会員のご家族、初参加の方々からご感想を寄稿頂きましたので、以下に掲載します。

山木和子会員

10年ぶりに豊英島に入りました。赤茶色の吊り橋を渡り、壊れた鉄柵門を通り小道をたどると少し開けた広
場がみえます。ここは昔から皆で昼食をとる場所でした。最初はその辺に座って食べていましたが、間伐材の椅子
ができ、今ではなんと3、40人は収容できる竹の屋根つきのお休み処になっていて、オールドボーイとオー
ルドガールが(失礼!若い方もいましたね)まるで我が家にでもいるように寛いでいらっしやいました。

豊英島をぐるりと歩いて、今の豊英島はとても自然な顔をしていると感じました。当初多くのボランティアが
竹藪と格闘し、再生計画により間伐をすすめて、キノコ栽培などにとりくんだ活気あるときをすぎて、今は豊英の
自然が人の手を受け入れおだやかに息している、そんな感じでしょうか。

この先10年、この関係がどうなるかも楽しみにみていきたいですね。

山木則男様

- ①豊英島を初めて訪れて、人間の手が自然をつくりあげると感じた。
- ②自分の大好きな岐阜チョウの好物のカンアオイがたくさんあることに驚いた。
- ③懐かしいジャコウアゲハをみて故郷で過ごした少年時代を思い出した。

山口淳子様

皆さまの丁寧な説明で、いろいろのことを学びました。又熱心に観察、研究される様子に接し、大変おどろきました。すてきな案内板のもとで、和やかな雰囲気にとても癒され、自然を充分満喫し、有意義な1日が過ごせました。ありがとうございました。

小俣恭子様

仕事の都合上、長年平日休みで、イベント等には縁がありませんでしたが、今年から日曜日が休めるようになり、初めての参加になりました。

天気に恵まれて、房総の自然を満喫することができました。豊英島の自然のことはうかがっていましたが、聞きしに勝る自然が残ることに感動しました。会員の皆様の地道な活動によるものと感謝いたします。また機会がありましたら参加させていただきたいと思っております。本当にありがとうございました。

成沢知広様

初めてこういったイベントに参加し、植物、昆虫、動物など自然環境の様々な分野の見識をお持ちの方々と観察ハイキングに同行させていただき、大変勉強になりました。

各々が好きなことに楽しそうに取り組む姿勢を拝見し、私も刺激を受けました。また、参加させていただきたいと考えております。

お知らせ

○6月の定例活動日 6月14日(日) 9:30 県民の森駐車場集合、シカ個体数調査 環境整備(水辺)、倒木処理、植生調査、植物調査、野鳥調査 ヒメコマツ周辺下刈など計画しています。

○夏のキノコ観察会 7月20日(月、海の日)、吹春講師に指導をお願いし、例年の要領で実施します。実施要領は追ってお知らせします。